

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,880	t-CO ₂
① （温室効果ガス 換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		1,880	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂	

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	原単位当たりの 排出量	97.08	kg-CO ₂ / m ²	94.17	kg-CO ₂ / m ²	3.0

(2) 目標設定の考え方

温室効果ガス原単位あたりの排出量を年間1%、3年間で3%削減する

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第1号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
一般管理／エネルギー 使用量等の把握及び 管理	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析を行い、データ化により使用実態の見える化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月実施
省エネルギー・省 資源の行動の実践・ 照明	<ul style="list-style-type: none"> 館内照明のLED化及び調光による消費電力量の抑制など（専用部、共用部） 	<ul style="list-style-type: none"> 年間全電力量の1%削減
省エネルギー・省 資源の行動の実践・ 空調	<ul style="list-style-type: none"> 大型テナント（竹中工務店グループ）の個別空調の設定温度及び運転管理など 	<ul style="list-style-type: none"> 全賃貸面積の約1/3以上の大型テナントの設定温度固定制御及び時間外運転制御による省エネ
省エネルギー・省 資源の行動の実践・ 空調	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備及び熱源設備の更新・改修など（能力、機能、効率、省エネ向上） 	<ul style="list-style-type: none"> LCC計画に準じた、設備更新、改修の実施
省エネルギー・省 資源の行動の実践・ 空調	<ul style="list-style-type: none"> 機械室給排気ファン、駐車場給排気ファンや外調機の間欠運転、スケジュール管理など 	<ul style="list-style-type: none"> 年間全電力量の1%削減

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

--

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--